

# 支部社協通信

第27号  
平成25年7月1日発行  
西条市社会福祉協議会  
地域福祉課

## 支部社協紹介

今号では西日本一の標高を誇る石鎚山の麓、道前平野南東部に位置する小松支部を紹介します。

元来小松地区は、米・麦・果樹を主産物とする農業地帯でしたが、東予地域一帯が新産業都市に指定され沿岸部への工場立地が進んだ1960年代以降は、市内外への交通の便にも恵まれていたことから、工業地帯へ労働力を供給するベッドタウンとしても発展してきました。地域内では、祭囃子と華やかなだんじりで賑やかに彩られる秋祭りや、七夕時期に商店街にて行われる小松町ふるさと祭り等の各種行事が住民参加のもと、盛んに行われています。

当地区に「小松」の名が付けられたのは、伊予国西条藩主であった一柳直盛の三子にあたる一柳直頼が、父直盛の死去に伴って遺領六万八千石の内一万石を就封し、陣屋（藩庁）の建設を開始した寛永15年にまで遡ります。直頼が陣屋の建設地を当時の新屋敷村内「塚村（西条領氷見村との境界付近）」へと決定した際、塚村地域一面に背の低い松（小松）が生えていたことを由来としており、藩政の終了後も「小松」の名は、村名、町名として引き継がれてきました。

藩の規模はあまり大きくはなかった小松藩ですが、藩主に好学の士が多く、学問の振興に尽くした藩でもありました。特に第七代藩主一柳頼親により、伊予聖人とも尊称される近藤篤山が招聘されてからは、藩校「養正館」が藩士のみならず領民にも門戸が開かれる等、道義を尊び大義名分を重んずる学風が地域に浸透し、多くの優秀な人材を輩出するに至りました。先人らの教えは現在でも地域内の各学校へ教学の理念として残っており、その精神は住民らの中に、歴史や伝統とともに今なお受け継がれています。

### 小松支部

支部長 塩出 皓治



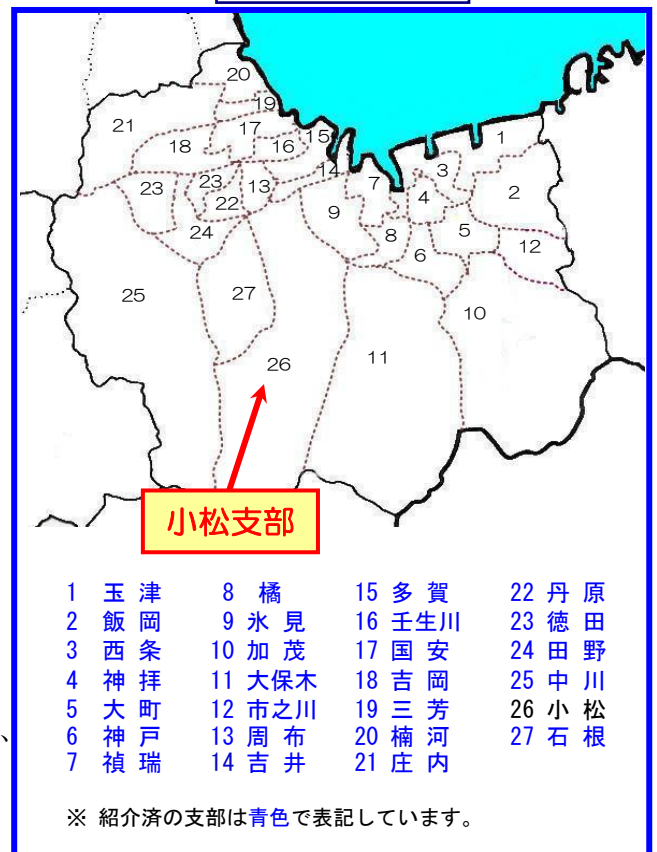
地域の皆様方には支部社協の事業運営に対しまして、日頃より多大なご支援、ご協力を賜っておりますことに心より厚く御礼申し上げます。

小松支部は、民生・児童委員、連合自治会、婦人会、老人クラブ連合会等より役員を構成し、各種団体よりお力添えをいただきながら、地域福祉の推進を目指し、各種事業を展開しております。

当地域を見ましても、児童・生徒数の減少や独居高齢者世帯の増加等、少子高齢化は深刻化の一途を辿っております。核家族世帯の増加や混住化等の問題と併せて、社会情勢はめまぐるしく変化しており、福祉に対するニーズも多様化の傾向を示しておりますが、そういった中においても住民間の支え合い、助け合いの関係づくりといった地域福祉課題は、特に率先して解決すべきものであると考えております。

当支部におきましても、住民の皆様と共に誰もが暮らしやすい、ふれあいあふれる温かな地域づくりを目指し、地域福祉推進の中核を担う社協だからこそ出来る取り組みを、今後も継続していく所存ですので、ご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

27支部位置図



### 小松地区はこんなところ



#### ■基本情報（平成25年5月末現在）

人口 : 6,447人  
世帯数 : 2,730世帯  
自治会数 : 17



施設等 : 小松高等学校、小松中学校、小松小学校、小松幼稚園、小松東・西保育所、小松総合支所、小松公民館、温芳図書館、小松地域福祉センター、JR伊予小松駅、椿交流館椿温泉、石鎚山サービスエリア、石鎚山ハイウェイオアシス館 等

#### ■名所等

小松陣屋跡、近藤篤山旧邸、養正館、仏心寺、本善寺 等

#### ■地場産業

農業（水稻、柿、柑橘 等）

#### ■伝統・行事等

秋祭り、運動会、小松町ふるさと祭り（七夕）、文化祭 等



## 自慢の支部事業

地域の方々との交流は、地域福祉の推進を図る上でも決して欠かす事の出来ないものであり、各種行事等を通して各支部においても盛んに行われています。

今回は、小松支部が実施している地域の方々との交流行事である「ふれあいグラウンドゴルフ大会」を紹介します。

- 1 事業名 ふれあいグラウンドゴルフ大会
- 2 目的 地域との親睦、交流を深める
- 3 対象者 小松地域の高齢者
- 4 実施場所 小松運動公園

小松支部では高齢者福祉事業の一環として、地域の高齢者と支部社協、一柳会（地域のグラウンドゴルフグループ）の参加のもと、年に1度「ふれあいグラウンドゴルフ大会」を開催しています。

この「ふれあいグラウンドゴルフ大会」は、もともと支部社協と地域児童との交流行事として平成18年より始まりました。夏休み時期の恒例行事となり、子ども達と支部社協役員、地域住民との顔つなぎの場としても大きな役割を果たしてきましたが、生徒数の減少や、屋外行事であり天候の影響を受けやすく、学校側との日程調整が難しかったこと等の理由から、平成22年度より対象を地域の高齢者へと変更し、地域内での親睦、交流の場として引き続き開催しています。

当事業の他に、敬老の家、独居高齢者宅への訪問、火災報知器の配布・設置等の事業を実施しておりますが、事業を実施していく中で特に心掛けているのが地域の方との交流です。こういった事業で出来たつながりをきっかけに、社協の取り組み等に関心を持っていただけることもあり、支部社協が実施する他の活動にもご協力をいただきたり、ご意見を下さる等、そこからまた地域の方との新たなつながりや関わりが増えることもあります。

今後も交流やふれあいを主とした活動を続けていき、地域の方にとって社協がより身近なものとなればと考えています。



～ 大会当日の様子 ～



～ 支部長挨拶 ～

### 《小松支部で実施している高齢者福祉事業》

- 敬老の家事業（社協メニュー事業）  
昨年度のプログラム
  - 1. 社協小松支所長講話  
「社協の事業について」
  - 2. 会食・懇談
  - 3. ふれ愛シネマ鑑賞
- 独居高齢者訪問（年2回）  
プレゼントを持参しての訪問、交流
- 火災警報器の設置  
対象：75歳以上の高齢者世帯  
※平成22、23年度に実施  
警報器は共募特別事業等で購入

## 社協からのお知らせ

### ～敬老の家事業参加者名簿について～

各支部にて実施していただいております、敬老の家事業についてですが、助成金申請の際に提出をお願いしている参加者名簿につきまして、参加者の方々の年齢を記載していただけますようお願いいたします。

お手数をおかけしますが、よろしくお願いいたします。

### ～ふれあいベンチ設置事業について～

各支部より申請いただきました「ふれあいベンチ」につきまして、7月下旬～8月上旬頃に各地区に設置できるよう、現在日程等を調整中です。設置予定日が決まり次第、当該支部へ文書にてお知らせいたします。

また昨年度までに設置したベンチにつきまして、老朽化等により廃棄処分を行った際には地域福祉課（担当：宇野、飯尾）まで連絡をお願いいたします。